

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www2.tokai.or.jp/s-koukyouso/
e-Mail s-koukyouso@ny.tokai.or.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814

第356号

2011年

5月20日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

Let's くみあい

高教組

2面 憲法集会 品川正治さん



給与カットするな、臨教の待遇改善
新規採用者増を強く迫る
春闘要求で教育長交渉

高教組は4月28日、先月提出した『春闘要求書』に基づき、教育長との団体交渉を行いました。(写真)
臨時教職員の待遇改善が進んでいないことの追及に対し、教育長は「課題として認識している」と回答。高教組が、具体的改善策をあげて迫ると、個々の問題は持ち帰って検討するとしてきました。また、新規採用者が2年連続して予定数よりかなり少ない点の追及に対し、「見通しが十分でなかった。後から補填するなどの工夫は必要」として採用システムの変更も示唆しました。
国家公務員の賃金カットが言われている中で、県教委としては人権尊重の姿勢は変わらないと答えました。



↑石ノ森まんが館周
辺のがれき撤去。5月
5日に子どもに開放
する為の作業。アル
バムや本の掘り出し
が切ない。
石巻市は仙台市から東へ40キロほど離れたところにある港町です。通常なら自動車で1時間もかからない距離だと思いがかりです。
石巻市は仙台市から東へ40キロほど離れたところにある港町です。通常なら自動車で1時間もかからない距離だと思いがかりです。
揺れの大きかったことがわかります。
た東照宮まで歩くと大きな石灯籠がいくつも倒れたままだなっていました。

がれきに埋まった住宅地

ボランティア活動に参加して 藤枝特支 鈴木憩子

高教組は震災後救援金に取り組み、これまで62万円を集約しました。また全教の要請に応え、藤枝特別支援学校の鈴木憩子さんが連休中、石巻市へのボランティアに参加しました。以下現地の様子と活動を報告します。
5月1日から5日まで
1日は昼に到着し、仙台市内を見て歩きました。仙台駅周辺の街中は人通りが多く店も開いており、一見して活気が戻ってきているようでした。駅舎は修理している最中であり、中心地から少し離れた東照宮まで歩くと大きな石灯籠がいくつも倒れたままだなっていました。

りが多く店も開いており、一見して活気が戻ってきているようでした。駅舎は修理している最中であり、中心地から少し離れた東照宮まで歩くと大きな石灯籠がいくつも倒れたままだなっていました。

浜岡原発の即時停止を求める世論の高まりが
政府・中部電力を動かした

静岡青葉公園での署名活動



浜岡原発の即時停止を求める署名・宣伝活動は県内各地で行われ、高教組本部には県内外から問い合わせが相次ぐなど、浜岡原発停止を求める声はかつてなく高まっています。県の中央メーデーには「世界一危険と言われている浜岡原発の即時停止を求める決議」があげられました。
予想される東海沖地震の震源域の真上に立つ浜岡原発は、日本の大動脈に近接し、いつたんことが起これば、被害は福島原発の比ではありません。菅首相はこのような世論の高まりのなか、中部電力に対し原

倒木、河口から流れてきたり曲がりたりしており、開通には日がかかりそうです。田んぼの中には、住宅の屋根や自動車のほか、よく見れば津波が運んだ塩水や汚泥もかなり残っていました。農地の被害も深刻です。
(2面へつづく)



食べて、飲んで、アピールして
青年部恒例富士川BBQ
連休最終日の8日(日)、五月晴れの富士川河川敷広場で、青年部主催のバーベキューと「新幹線にむかって9条アピール」が行われました。
家族連れも含め15名が参加、「憲法9条は世界の宝」のパネルとともに、「原発停止」の凧と気球もあげ、富士川鉄橋を走る



原発停止を求めて河川敷で凧揚げ

視座

この春、人事異動で、転勤することにまず、職員室の机、研究室の机、ロッカーの整理を始める...。出るわ、出るわ、数年分のゴミが。中には、前任校から持ってきたモノまで。書籍は、古本屋にただ同然で売ったり、紙ひもで縛って処分したり。書類は、歴史を感じさせるものも多く、中にはシュレッダーにかけなくてはならないものも。引き出しの中には、不要な筆記用具、たまに名刺やレシート、大量のクリップ...。整理とは、捨てることだと学びました。そして、引越す。ここにも、十数年分のゴミが。中には、まだ十分に使えるモノも。ここでは不要でも、きつとどこかでは必要なモノ。しかし、時間的余裕がなく、寄付もリサイクルもできず、罪悪感にとらわれつつ、ゴミ処分場まで何往復も▲とありえず、とっておいたモノは、たいてい使わないモノでした。まず何よりも先に、捨てなくてはならないのは、古い自分だと知りました。モノに執着し、「いつか」のために「今」を犠牲にし、本当に大切なものを見極められない自分を▲ここ最近では、職員室の机も、うちの中も、スッキリ。掃除も楽になり、やりがいも。何も無い空間に、新しい世界が見えてきました。そう、何も持たない手ですか、何かもつかめないんです▲さ、今日も、生徒たちと、掃除、掃除。



# 息の長い支援を どう続けるか

## 主張

政府の「公務員人件費2割削減」方針を受け、総務省は5月13日(金)、国家公務員給与の10%削減を打ち出し、全教も加盟する「公務員労働組合連絡会」(公務労組連絡会)に提示しました。

交渉を経て、6月上旬の通常国会に提出したいとしています。わずか3週間で強行しようとする姿勢です。公務労組連絡会は強く反発し、撤回を求めています。

## 国家公務員の給与10%削減提案、 なんとしても阻止しよう

片山総務大臣は「異例の決め方をするので、職員団体の理解をできるだけ得る必要がある」と述べていますが、それ以前の問題です。人事院勧告の制度を踏みにじり、政治的にしています。その上復興、大企業がため込んだ24兆円にも及ぶ内部留保には目をつぶり、自ら給与削減提案を許すわけにはいきません。

興財源確保を名目にした給与削減提案を許すわけにはいきません。賃金の標準制をもつ公務員には給与を召し上げる、こんな逆さまな政治を許すわけにはいきません。

高教組は、全教、公務労組連絡会とともに署名、抗議

片山総務大臣は「異例の決め方をするので、職員団体の理解をできるだけ得る必要がある」と述べていますが、それ以前の問題です。人事院勧告の制度を踏みにじり、政治的にしています。その上復興、大企業がため込んだ24兆円にも及ぶ内部留保には目をつぶり、自ら給与削減提案を許すわけにはいきません。賃金の標準制をもつ公務員には給与を召し上げる、こんな逆さまな政治を許すわけにはいきません。



### 道路わきのガレキの山

石巻市内に入ると、町あつたことが見て取れまは広範囲に津波の被害に

路からはがれきが撤去さ

離れた場所にある住宅地にも、水に浸かった家具や畳、そのほか大量のごみが道路に積み上げられていました。

海に近づく、何かのオブジェのように鉄筋コンクリート建築の2階に突き刺さった船、ガレージに斜めに引っかかっている自動車、形を成していない住宅など、津波の破壊力のすさまじさが伝わってきました。津波は一瞬でこれをやっつてのけました。片付けるにはどれほどの労力がかかるのか。ため息が出ます。

### 全国から寄せられた救援物資の仕分けをするボランティアの人たち



町の中は、潮のにおいや下水のにおい、いろいろなものが腐敗したにおいが混じり合い、風が吹くと汚泥の乾いた砂埃が舞いました。肺炎の人が増えているという話です

生活をする危険さもよくわかりました。また、粉々になった家の柱や壁を片付ける中で、津波のすさまじさに恐怖を覚えました。

これからは被災地の人が、健康を守りながら

## 鼻をくっつけて泥の山

品川さんは、「戦争をするのも人間、止めるのも人間。なぜそれに気づかないのかをいつも自問し、」

### 人間の目で経済を見る



品川正治 (しながわまさじ) 1924年兵庫県神戸市生まれ。東京大学法学部卒業。現在、経済同友会終身幹事、国際開発センター会長。日本興亜損保(旧日本火災)社長・会長を経て、91年から相談役。93~97年、経済同友会副代表幹事・専務理事。

生活しつつ、長い時間をかけて生活の場所を作り直していくまでは、たいへんな道のりです。現地の人たちはいやでも現実に向き合わなければなら

たはどちら側か?」を

### 復員船の中、 憲法と邂逅

品川正治さんの前半生は、まさに戦争時代の真つ只中でした。小学二年の時に満州事変が勃発。中学に入ってから日中戦争が。そして、旧制三高(現在の京大教養課程)に入學した時、太平洋戦争が始まりました。在学中、二十歳の時に召集され、中国戦線で、白兵戦の斬り合いも経験。十メートル先のたこ壺で戦友が迫撃砲でやられ、「品川、品川」と連呼しながら死んでいったその声は、「今でも忘れることができない。」と語ります。自身も被弾し、今も破片が足に

## 戦争。人間そして憲法9条

### 憲法記念日に経済同友会終身幹事 品川正治さんが講演

たはどちら側か?」を